



かえでゆうびん 7月号

遅い梅雨に入った途端に、熱帯低気圧が台風に…この異常気象に今年の夏も悩まされながら暑さ対策をしないといけなくなりそうですね。

ゲリラ豪雨や、異常な高温日、このままだと水不足にもなりかねません。私が子どものときは、夏の一日は朝から元気に泣いていた蝉が一瞬泣き声が止まったかと思う間もなく、入道雲が見る見るうちに黒雲に代わり夕立が…暑かった一日が洗い流され、時には虹が出来たり、少し地面の温度が下がったり…何だか風情がありました。今年も子どもたちの熱中症対策として午前の10時にチーズを食べ、ヒヤリンでしっかり水分補給。暑さに負けない元気な体を維持していきたいと思います。

また、悲しいことに5月ごろからから子どもの事故が相次ぎ、心が痛みます。園外保育の在り方、果物の喫食（枇杷のアレルギー）、水の事故など、子どもの関係する事故が多く起こっています。マニュアルの見直しなど、保育者の連携を進め、保護者の方々と共に安心な環境を作っていきたいと思います。かえで保育園では、先日から4日間、園庭の築山の張り替え修理を行いました。開園して9年目にもなりますので芝生が痩せたり、土台がへこんだりの不具合ができました。完成セレモニーの後、『ふわふわ』『気持ちいい〜』の声と共に思わずでんぐり返りをしたりし、めばえのお友達もがはいはいで上がって降りて…思わずコロコロしたい芝生になりました。

6月のダンディ・タイムでは大きな木を使い、基地づくりや木の幹が付いたままの橋を設置しました。作業に入ると大粒の雨が降り、なかなか捗らなかったのですが、夕方遅くに完成！アジサイの木の前に面白い形の橋ができました。築山の工事の手直しが終わったらもう少し木を重ねてアスレチックを設置したいと思っています。昨年植えたヤマモモも少しだけ実を付けてくれました。脚立の上に乗って、思いっきり背伸びをして収穫。みんなが見守る中だいち・ひかり組の食べてみたい子どもたちは口にしました。『甘酸っぱいね〜』と表現してくれた言葉に食べていない子供はどんな味に感じたのか聞いてみると、いちごみたいかな〜とっていました。来年はきっとたわわに実り色水あそびやヤマモモジュース・ジャムができるほど実ってほしいな〜と思っています。



さて6月の最終行事として「同園お泊り会」がありました。今年でお泊りは2回目。各々が様々な思いを持って戻ってきてくれるこの同園お泊り会は1年のお子様の成長等が見られ、わくわくしながら心待ちにしていました。ちょっと照れくさそうに玄関から入ってくる子どもたちや『久しぶり〜！！』とにこやかに入ってくる子どもたち様々でした。受付をしてさあスタート！あまりの興奮になかなか話が聞けない場面もありましたが、上級生は下級生の面倒を見てくれたり、小学校別に座ってもかえでの時の仲間が気になりずっとべったりしていたり…中には夜に「先生。。傍にいてとんとんして〜」とってくれる子もありました。プログラムの中に『泥団子づくり』を入れました。今まで皆が経験していると思っていましたが意外とやったことを覚えていないお子様もあり、今回少しの時間でしたがみんな一所懸命作ってくれました。在園児さんが月曜日たくさんの団子に出会うのが楽しみです。卒園の保護者の方だけでなく、在園の保護者の方もお手伝いくださり、滞りなくスムーズに進められました。快い疲れです。だんだんと疲れが抜けにくくなる年に近づいてきましたが、子どもたちと触れ合える子の時間を大切に保育を進めていきます。7月は七夕・水遊びが待っています。皆で夏を満喫していきます！

*かえでカフェ・・7月20日 フラダンスで楽しみましょう！！

にこにこメッセージ

ようやく梅雨の季節がやってきました。今年は雨が少ないせいか、園庭に咲く紫陽花の花の色付きが鮮やかでないような気がします。子どもたちは紫陽花の花を使って、ままごとあそびの飾り付け、ケーキやご飯に彩を添えて楽しんでいます。葉の部分は水に流して、流れていく葉っぱの様子を楽しんでいます。子どもの創造の世界はとても柔軟です。

先日、保育研修（井桁容子先生）の中で「A I」の話が出てきました。現在では、様々な研究開発が進む中でも、3歳までの子どもの脳の成長発達が有能であるため、0～3歳児の子どもは人工知能を搭載してのロボットなど作ることができないそうです。近い将来、便利さを優先すると先にはA Iに支配されていくのではないかと予測されています。A Iの研究をすればするほど脳の育つ乳幼児期は「心の成長・発達」が最も大切だと言うことがわかってきました。

保育園の生活の中で、乳児期から日々の生活の流れやあそびを習得し成長しています。大人に教えられるのではなく、子ども自身が毎日の生活の中で「やってみよう・やってみたい」とすることでやる気が育ちます。大人はつい先走り、子どもにO×（正しいか、正しくないか）を教え込もうとします。一人ひとりの日々の成長を見ていると、子どもの全てを大人がわかってあげたり、出来る様にしてあげることよりも、子どもの思いに寄り添い、一緒に考えていくことが大切だと感じます。「雨にも負けず、風にも負けぬ、心を育てていきたい」と思う今日この頃です。

主幹教諭 藤森 寿美

園庭から戻ってきたひかり組の男の子Bくんが「せんせい、みて」と大切そうに見せてくれたのはかわいいサイズのじゃがいもでした。

話を聞いてみると、先日みんなでじゃがいもを収穫した後に残っていた小さな小さなじゃがいもを、土の中から発掘したそうです。「まだ残っていたんだね」

そしていぶき組のAちゃんがまだ収穫をしていなかったのも、一緒に手伝ってくれるようBくんをお願いしてみることにしました。

少し恥ずかしそうにAちゃんと一緒に園庭に向かい、芋のつるを持ちます。

しかし2人とも互いにどう声をかければよいのか分からず、口を閉じたままでした。

「Bくん、Aちゃんにも一緒につるを持たせてあげて？」すると、「…ほら、ここ。はい、ぬくで」少し不器用で照れ屋さんなBくんらしい言葉の

かけ方でした。それに答えるようにつるを持つAちゃん、始めは出てきたじゃがいもをじっと見つめていましたが、しばらくすると「おおきい!」「これちっちゃいよ、みて」と会話が生まれ始めました。収穫を終え、2人でじゃがいもの入ったかごを持ちながら階段を上っている時でした。こっそり隠れながら耳を澄ましてみると、「これ、Aちゃんが抜いたよって、みんなに言おうな、なっ!」自分が収穫したことよりも、Aちゃんの嬉しい気持ちに寄り添うように声をかけているBくんの優しさが溢れていました。

河本 彩奈

お昼ごはん前や夕方は、めばえさんとふたばさんが一緒に過ごすことも多く、お互いを意識しながら過ごすことも増えてきたように思います。ふたばさんが太鼓を叩いてリズムを取っていると、音を聞いてめばえさんが集まってきました。チューリップの歌をふたばさんが歌い、その音に合わせてめばえさんが身体を揺らします。時には、一緒に太鼓を叩きながら、時には「じょうず」と手を叩きながら、心地よい空間を共有しているようでした。異年齢だからこそ出来る遊びの交わりを今後も傍で見守り、その楽しさがそれぞれの思い出に残り、次の遊びのきっかけに繋がればと思います。

また、先日、熊本での保育大会に行かせていただきました。実際に熊本城を目の当たりにし、修復中のがれきを見ると風化しかけていた地震の怖さを思い出すことが出来ました。600億円を費やし、20年後に修復完了するそうです。そこまでして…とも思いましたが、その費用と期間が全国民の希望であり、もう一度立ち上がるんだという信念も感じられました。未来の希望である子どものために、保育士として、一人の大人として今出来ることを考えていきたいです。

乳児リーダー 谷角 早紀

【 今月の先生コーナー 】

基本的に三日坊主なので今までこれと言って何かに熱中することもなかったのですが、何か趣味を作ろうと思い、ギターを始めました。YouTubeを見ながら一から始めてみたのですが、弦を押さえるところから難しい…。左手の指が次の日もその次の日も痛くなりながらも練習していますがなかなか弾ける気配が感じられません。

ギターを弾きながら歌を歌ってみたいなあ理想を持ちつつ、こつこつと練習していきたいと思います。

私の友だちにはピアノが苦手だからギターを弾きながら子どもたちと歌を歌っている子がいたり、だいちさんたちが手話をしながら「にじ」をうたったり人を感動させてくれるものはたくさんあることを周りの人や子どもたちに教えてもらっています。そんな素敵なことを子どもたちと共有していきつつ、私も何か趣味や没頭できるものを見つけたいと思います。

林 千紗

～めばえぐみ～

ねらい：「安心していろいろな所にいってみる」

う た：「うみ、ボウズ、おもちゃのちゃちゃちゃ」

少しずつ日差しが熱くなってきました。お外から帰ってくると水分補給をする時にコップに自分で手を伸ばしたり、両手でコップを持てるようになってきました。お部屋の中では窓の段差の上に乗降り方が分からなかったのに何度か一緒に降りる練習するとおりることができるようになったりとたくさん体を動かして遊んでいます。

なにしてるの？

お友達が遊んでいると近づき「なにしてるの」とじーと見つめていたので、同じおもちゃを渡すと真似をして楽しそうにしています。みんな音の鳴るおもちゃがだいすきで一人が太鼓を鳴らすとほかに音の鳴るおもちゃをみつけて一緒に遊んでいる姿をたくさん見られるようになりました。またお友達がみつめていることに気付くと「これどうぞ」と渡そうとして受け取ってくれるとうれしそうにパチパチと手をたたいています。同じ動きや同じおもちゃで遊ぶことで、お友達を肌を感じたり、顔を見合わせてにこにことしてお友達に少しずつ興味を持っています。



お風呂気持ちいいな

暑くなり、お外で遊んだあとは沐浴をします。最初の時は泣いていた友達も繰り返しお湯になれると手をお湯につけてバシャバシャとしたり、シャワーから出る水に手を伸ばしたりしています。保育者が「身体流すよ」とシャワーやお湯で身体を流すとにこにこ笑顔で気持ちよさそうにしています。シャワーで水に慣れていることもあり、お外でふたばさんがタライのお水で遊んでいるといっしょにタライのなかにあるお水に手を伸ばして触りピシャ・ピシャとなったり、手で水面をたたいて水しぶきを楽しんだり、タライの中に入って全身で水を楽しんでいます。



“担任の思い”

日々たくさんのがわかり、興味津々な子どもたち。

自分で行動できる範囲も広がり、お部屋や園庭でもハイハイや伝え歩きなどで様々なところにいけようになりました。保育者とも関係性が少しずつでき、先生がいるのを確認すると遊び始める姿も見られるようになり嬉しく思います。

初めての水遊びや今まで行ったことのないところへ行ってみたり、触れたりして子ども達を感じた驚きや発見を子ども達と一緒にみつけ、お伝えしていきたいです。

植木雅 高田奈沙 立田瑛怜菜

～ふたばぐみ～

ねらい：「水遊びを楽しむ・友だちや保育者と一緒に遊ぶ」

う た：「うみ」「おばけなんてないさ」 わらべうた：「ももやももや」

6月は晴れの日も多く、園庭でしゃぼん玉や水遊びを楽しめました。雨が降ると部屋の中から「あめ、ざーざーだね」とお話をしながら雨が降っている様子を見て楽しむ事もありました。砂や水などの感触を全身で触れて遊びながら保育者やクラスの友達、さらにはお兄さんやお姉さん、めばえ組の子達と異年齢で関わる事も増えてきました。

～バブルアート～



園庭でのしゃぼん玉遊びが大好きで先日しゃぼん玉を使って絵の具遊びをしました。色のついているしゃぼん玉をふーと吹くと紙にパンと弾けて色がついていく様子を楽しんでいました。普段は目に見えない物でも色が付くと様々な形が出来る事で目で見て分かり子ども達も何度もしゃぼん玉を吹いて楽しんでいました。大きなしゃぼん玉が出来るように優しくふーと吹いてみたり、たくさんしゃぼん玉が出来るように吹いてみたり吹き方によって変わる模様も「すごいね」と友達と話をしながら楽しんでいました。また、筆や刷毛を使って紙に描くこともしました。丸や線など道具を使って描ける独特の形を興味津々で見ながら描いていました。



～雨の日～

雨が降っていると「きょうはおそといけないね」と友だち同士で話している声が聞こえてきます。雨の音や雫が跳ねる様子をじっと見ている子もいます。「あめふり」や「あめふりくまのこ」を保育者が歌うと一緒に歌ってくれたり歌に合わせて手を叩いて聞かれています。また、ランチルームに行く



ボール遊びや音楽体操をして身体を動かします。ボールを投げたり蹴ったりトンネルではハイハイをしてくぐったりマットを出すとダイブをしてふかふかなマットに身体をうずめたり雨の日も思いっきり身体を動かして遊んでいます。



“担任の思い”

「同じクラスのおともだち」が分かり一緒に過ごす中で気持ちを共有したりお世話をしあげたり友達との関わりが増えてきました。まだ言葉で伝えられない子は保育者に気持ちを代弁してもらったり言葉で伝えられる子は保育者に仲介してもらいながら友達に自分の気持ちを伝えていきます。まだまだトラブルも多いですが、先生だけでなく友だちとの関わりを大切にしながら見守っていきたいと思います。

～つぼみぐみ～

ねらい：「様々な感触遊びを友達と一緒に楽しむ」

う た：「たなばた・アイスクリームのうた・おてぶしてぶし」

友達同士の関わりや言葉も増え「一緒に遊ぼう」と誘ったり、工夫して遊ぶ姿が見られるようになってきました。ままごと遊びでは、「はい、どうぞ」と声を掛け合い自分が体験したことを取り入れて遊んでいます。また、幼児さんとダンゴムシ探しをしたり、小さいお友達のことが気になり窓やテラスから覗いて優しく話しかけ、一緒に遊んであげる姿も見られほっこりしています。異年齢での関わりも大切に見守っていきたいと思います。

～しゃぼんだま～

園庭に出ると真っ先にストローや輪っかなどそれぞれしたいものを手に取り、友達と一緒に遊ぶ姿が見られます。めばえぐみのお友達にしゃぼんだまを見せてあげたり、築山まで行って少し高いところからしゃぼんだまを飛ばして眺めたりもしています。ゆっくりと息を吹くことで大きなしゃぼんだまが出来ることにも気づき、「せんせい、みてて！」と嬉しそうにいろんな



大きさのしゃぼんだまを見せてくれます。日常の中で「しゃぼんだま」の歌を友達と一緒に歌うこともあり、優しい歌声を響かせています。5月頃から「吹く」ことに興味を持っている子どもたちは様々な体験の中で遊ぶことを楽しんでいます。こいのぼりが出ている時、風車が気になり風で回ることを知った子どもたちは園庭に出ると「まわるかな？」とみんなで頬を膨らませて息を「ふ～」と吹きかける姿はとても微笑ましかったです。手持ち風車を回すことも友達と一緒に楽しんでいました。花型のこまを室内に用意すると2つ重ねてみたりしながら工夫して回したりもしています。今では、しゃぼんだまが大好きで日課になっていて「吹く」ということに夢中なつぼみぐみです。

～感触遊び～

絵具とビー玉を使って転がし絵をしました。ビー玉に青、緑、黄色の3色から好きな色を選んでビー玉に絵具を付けて画用紙に描きました。傾き方によって出来る模様が様々で個性豊かな作品が出来ました。絵具を使ったことから混色や転がすだけでなく画用紙に手形を付けたりして絵具の感触を楽しむ姿も見られました。また、天気の良い日には水、泥、泡遊びも楽しんでいます。水遊びでは幼児さんがしていたことから色水に興味を持ち、花や水の量によって色の違いに気づいたりもしています。ポンプから水を流し、工夫しながら水路を作りもしています。砂山からじょうろで水を流すと泥団子を作ってみたりバケツに泥を入れたりして泥の感触を楽しんでいます。泡遊びでは容器に泡をたくさん入れてアイスクリームなどに見立てて遊んだりもしています。これからいろんな感触遊びを取り入れ、子どもたちと共に楽しみたいと思います。



“担任の思い”

子どもたちの遊びが充実していく中で「これ何?」、「どうしてこうなるの?」などいろんな不思議や発見が見られます。子どもたちが気になっていること、興味を持っていることやしたいことに保育者が気づき寄り添うことで遊びが絶えないような環境作りをしていきたいと思います。また、たくさん身体を動かし水分補給と健康状態を把握しながら子どもたちが快適に過ごせるよう配慮していきたいです。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「水や泥に触れ夏の遊びを楽しもう」

う た：「あめふりくまのこ3番」「せかいじゅうのこどもたちが」

幼児クラスになりはや3か月が経ちました。あこがれのだいち組やひかり組との関わりの中で「これなんだろう？」「あれやってみたい」という刺激をたくさん受け、色々なことに興味津々な子どもたちです。歌を歌う時もお兄さんお姉さんを意識して大きな声で歌ったり、折り紙が始まればぼくも私も…と隣に座って遊びが始まったりしています。自然と関わりが深まっていく様子がとても微笑ましく、今後もとても楽しみです。

～泡遊び・水遊びきもちいいね～



水遊びの気持ち良い季節が始まりました。今かえで保育園の園庭では、しゃぼん玉や、色水遊び、水筆など水や泡を使った遊びが大人気です。いぶき組の子ども達も園庭に出ると、しゃぼん玉を吹いたり、手に水をつけてペタペタと手形あそびをしたりして水や泡を使った遊びを楽しんでいます。また、ひかり・だいち組のお姉さんお兄さんたちに教えてもらいながら、花や葉っぱをすりこ

ぎで擦り、いろいろな色の色水を作ることも夢中なようです。水路作りに興味を示す子も多く、一緒に水路を掘ったり水を流したりしながら、毎日いろいろな水遊びが発展していています。今後はどのような展開が待っているのか、一緒にドキドキわくわくしながら見守っていきたいと思います。



～枝豆をついに収穫しました～



春から大切に育ててきた枝豆がついに立派な実をつけました。暑い日は「えだまめさんもあついよね…」と水やりをしてくれていた子どもたち。さやの中の実がまだ小さい頃から、まだかなまだかな…と園庭に出るたび待ち遠しくしていたので待望の収穫に大喜びしていました。枝豆は、はしを少し切り、少量の塩をもみこんでゆがくと美味しいみたいだよと教えて

もらい、ゆでている間も調理室を覗き込み待ちきれない様子でした。ゆで上がった枝豆はあざやかなうぐいす色をしており、昼食の時間においしくいただきました。自分たちで収めた枝豆は、格別においしかったようで、次の収穫も楽しみだねと楽しそうに話しながら食べていました。



“担任の思い”

ついこの間までは先生と一緒に頑張ることの多かった子どもたちが、自分で考え、自ら挑戦していく姿には驚かされてばかりの毎日です。異年齢での関わりやクラスの友達から刺激を受け、初めての発見や気づきに出会い、喜んだり悩んだり毎日大忙しな様子の子も達です。日々着々と成長していく子どもたちの思いに寄り添い、一つひとつの楽しい・嬉しい・なんだろう？を大切に、共に成長していきたいと感じています。

木下 明友美

～ひかりぐみ～

ねらい：「自分の思いを言葉で伝えよう」

う た：「せかいじゅうのこどもたちが」「線路は続くよどこまでも」

梅雨の時期ですが、今年はあまり雨が降らず天気の良い日の中「暑いな～」と汗をかきながら、水遊びや泥遊びを楽しみながら過ごした6月でした。水遊び、泥んこ遊びを身体全身で触れて、見て、感じながら繰り返し遊んでいます。色水が好きな子ども達が多く変わる色を見て楽しみ、1つの遊びからいろんな方法を試してどんどん広がっていく様子が日々見られます。

“お世話係”

いぶき組の頃からカブトムシのお世話をしていた男の子たち。しかし、少しずつお世話を忘れていくように…。ひかり組になりカニやカエル、カブトムシなど生き物の死が続きました。そこで、園長先生と話をし、ひかり組のみんなでお世話をすることになりました。

お世話をするのは、カブトムシ・カニ・カエル・さつまいもの4つの係を決め、子どもたちがやりたいと思うお世話係を任命し、子ども達に託すことにしました。

その日から子ども達が自主的に、植物に水をあげたり、生き物にご飯をあげるなどお世話をしている姿が見られるようになりました。忘れていた子どもには、覚えている子どもが声を掛けたり、さつまいもに水をあげている友達を見て、思い出して自分も水をあげるなど、子ども同士で進んでお世話をするようになりました。第1弾のさつまいもは枯れてしまい、第2段のさつまいもを新しく植えました。「さつまいもが大きくなるように」と願いながら、毎日お世話をしています。



“音を楽しむ”

普段からマリンバや鈴など楽器をして遊んでいる姿が見られます。好きな曲を覚えて弾いたり、だいち組の子どもがしているのを真似たり、保育者のピアノに合わせて音を鳴らしたりしています。

ある日、何人かの子ども達から「踊りたい」という声があり、フリールームでピアノに合わせて踊りました。早く動いたり、ゆっくり動いたり、ピアノの音が止まったら、動きを止めるなど様々なことをしました。止まるときのポーズをかわいいポーズや動物など変えたりすると、子ども達は「次は何のポーズかな」と考えながら、ピアノの後に集中していました。子ども達は汗を流しながら、楽しそうに踊っていました。雨の日や、プールが始まりますが、部屋での遊びも楽しく展開していきたいと思います。



“担任の思い”

お世話係を決めて、自主的に生き物や植物のお世話をするようになったことを嬉しく思います。そして図鑑で調べる姿も見られます。気になったこと、気付いたことを自分で調べる姿はすごくイキイキしています。生き物の死から命の大切さを感じ、お世話をしていく中で大変さなど様々なことを感じ、成長の喜びを感じてほしいと思います。そして、責任感をもてるように、これから大きくなる生き物・植物を子ども達と一緒に観察していこうと思います。

私の好きな音楽を子ども達と一緒に楽しめるようにできれば、と考えています。子ども達が自由に表現できる場を作り、子ども達がやりたいという思いを一人ひとりが持てるような環境・遊び・関わりをしていきたいです。

松岡桃花

ねらい：「友達のいいところを見つける」「夏の遊びを工夫して楽しむ」

う た：「まあいいのち」「おひさまになりたい」

5月に“命”の話をしてから、子ども達の話合いのなかでも命の話がよく出てくるようになりました。お友達の妹が生まれて喜びをみんなで共有した、嬉しい命の話。またお友達とケンカになって手を出してしまった時、「口で言えなかった。命を傷つけてしまった。」と話す姿も見られました。子ども達のなかで、少しずつ命への考えに変化が見られるようになってきているのかなと感じました。一人ひとり大切な命があって、みんなそれぞれ違いたいところがあることに普段の生活のなかでも気付いてほしいと思います。みんなで見つけあうなかで、自信に繋がってほしいです。



“姫路城の完成！”

積み木の積み方がたくさん紹介されている本と、自分たちが積んでいる積み木を見比べながら、少しずつ積み重ねていった姫路城。やっと屋根をつくる段階まできて、大きな段ボールを敷いて、よし！積むぞ！と言う時に壊れてしまいました。ずいぶんの量が崩れたため、「もう無理だ。」「できないや。」と諦める様子もありましたが、やっぱりなんと



か完成させたいという思いから、みんなで協力して、やっと完成しました。忍者たちがあそびに来た時に、こっそり窓から覗くことが出来るように、と窓を作りながら嬉しそうにする姿が可愛らしかったです。

しゃちほこや石垣も姫路城に行った時に取った写真と見比べながらこだわっていました。

完成してからも窓を覗きこんだり、忍者が来てくれるようにと折り紙で忍者や手裏剣をつくって楽しんでいます。



“たくさん友達できるかな”

6月から他の幼稚園や保育園と交流する機会が増えてきました。初めて松秀幼稚園に行ったときは、緊張している姿も見られ「恥ずかしいから先生が代わりに名前聞いてきてよ。」と話すほどでした。しかし、松秀幼稚園の子どもたちが積極的に声を掛けに来てくれたことが嬉しかったようで、用海幼稚園のみんなが、かえで保育園に遊び来ると知った時は、「今度はぼくたちが、たくさん楽しいこと教えてあげたい。」と話し、積極的に声を掛けたり、お名前を自分から聞く姿も見られました。

今では他の幼稚園や保育園のお友達と遊ぶ機会をととても楽しみにしていて、保育室に貼っているカレンダーを見ながら「あと何回寝たらかな？」と数えています。

これからも交流する機会はたくさんあるので、一緒にたのしい時間を共有していきたいです。

“担任の想い”

松秀幼稚園に行った後、次は僕たちの番だ！と意気込んでいる様子を見て嬉しく感じました。交流のなかで今までにはなかった経験で困ったり、挑戦したり、普段とはまた違った子ども達の姿が見ることが出来たように感じます。「お名前聞けたよ。次また一緒に遊べるかな。」と嬉しそうに話す姿も見られました。

様々な友達と出会い、楽しさを共有するなかで人と関わる事の楽しさを感じて欲しいと思います。

保護者の方からのおはなしコーナー

ふたばぐみになり、以前よりお話をすることが多くなってなりました。最近では「〇〇くんとお芋とったよ。葉っぱ付いてた。大きいよ。」と私やぬいぐるみに話しています。毎日、「今日は～と話を聞くのが私の楽しみになっています。

ふたば組 よしえさん

「今日は保育園で何したの？」と聞くと「おりがみと家族ごっこ…誰と遊んだと思う？」と話が止まらなくなり、いぶき組の妹も話に加わり3人で盛り上がります。こんな日常がとても幸せで成長していく子どもを愛おしく思います。

だいち組 さちこさん

週に1回の体操の時間が楽しみな息子。家でも毎日、ソファの上で体操のマネごとをし、寝る前には布団やまくら、大きいクッションを自分なりに並べてサーキット運動の様に走ったりジャンプしたり転がったりしています。

始める前に「かえで保育園つぼみ組代表〇〇くん」と紹介を求められ、体操が終わると拍手を求められ、子ども親も楽しんでいます。

つぼみ組 みきさん

4月から、下の子も一緒に通うようになり朝の用意もバタバタですが、「早く保育園に行きたい！」と急かしてくるほどかえで保育園が大好きな2人です。最近、曜日を覚えてきて「木曜日は体操!」、「金曜日は絵本の日!」と教えてくれます。

毎日「今日は何の日?」と聞いてきて予定があると嬉しそうにしています。

ひかり組 あいこさん

教わった歌やダンスをよく披露してくれます。始めは謎の呪文のようでしたが、最近、部分的な単語がヒントになったり、メロディが上達して、何の歌か分かるようになりました。

こちらも歌当てが楽しくなります。

ふたば組 ちほさん

いつもは9歳の兄と何でも同じようにしないと納得せず、負けん気が強いので日々心配です…。

そんな息子が毎朝泣くので「何で泣くの?」「保育園いや?」と尋ねてみると、「ちがうねん…だってママが好きだから」とのこと。まだまだ3歳…安心しました。

いぶき組 みきさん

☆お台所から☆

梅雨を感じる事が少なかった6月を終え、7月は本格的な夏がやってきそうですね。暑くなると食欲が落ちてしまいがちですが、旬の食材を取り入れた食事、おやつを工夫して作っています。暑い夏を元気に過ごしましょう。

6月の食育活動の様子

・お手伝い当番(だいち)

毎日交代でお手伝い当番をしています。朝にはお米を炊き、お昼の時間にはメニュー紹介や幼児さんの配膳、食後はランチルームの後片付けをしています。「お野菜どのくらい食べますか?」「多めでお願いします!」といったやりとりの中で子ども達は、きれいに入れてあげる、食材をバランスよく盛り付けるということを経験しています。小さいいぶきさんには、「〇〇ちゃん、ごはんどのくらい食べられそう?」と優しく声をかけてくれるお兄ちゃん、お姉ちゃん的一面も見られますよ。

・梅干し・梅ジュースづくり(だいち)

いつもお世話になっているマンダリさんへお買い物に行きました。とってもいい香りの梅を一つ一つハタをつまようじで取ったり、重さを計りました。梅干しは9月中旬頃、梅ジュースは氷砂糖が溶けたら完成です。みんなで食べられる日が待ち遠しいですね。

・じゃがいもの収穫・クッキング(いぶき・ひかり)

ながーい葉っぱをみんなで協力してひっこぬきました。いぶきさんが洗い、皮むきはひかりさんにバトンタッチ!5キロもあったじゃがいもはふかしいもに変身しました。自分たちで収穫した野菜にはやっぱり愛着があるようで、ちいさくてかわいい。なんか食べるのがもったいないね。と言いながら大切に味わっていました。

7月に予定している活動

- ・とうもろこしの皮むき
- ・ピーマンの種取り
- ・ゴーヤの味を体験する
- ・流しそうめん
- ・かぼちゃの種取り
- ・わらびもちづくり
- ・ゼリーづくり

7月の献立 旬の食材

とうもろこし	ピーマン	きゅうり	かぼちゃ	なす
トマト	オクラ	ズッキーニ	枝豆	スイカ

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<豆腐ドーナツ>

【材料】

- ・絹こし豆腐 100g
- ・ホットケーキ粉 150g
- ・砂糖 15g

【作り方】

- ① 豆腐をボールに入れ滑らかになるまでよく混ぜたらホットケーキ粉を加えて粉っぽさが無くなるまで混ぜる。
- ② 180℃に熱した油にスプーンを2つ使って丸くしながら落とす。
- ③ 全体がきつね色になったら出来上がり。





- 12日夏祭りの会で2歳児以上は浴衣を着用します。お持ちの方は浴衣で登園して下さい。
(雨天の場合は園で着つけします)
詳しくはPOPでお知らせします。
- 29日～31日高校生のインターンシップ1名受け入れます。

★お願い★

- 7月中旬～9月上旬にかけて職員が夏休みをとらせて頂きます。職員全体で保育を進めていきます。
8月(夏季保育10日～17日)は家庭保育にご協力下さい。
- 幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)
- 暑い日が続いています。水分補給は冷たいものではなく常温のものをこまめに摂取するようにしましょう。ひやりんは常温で提供しています。
- 今年から火～金まで毎日プールだけで終るのではなく水遊びとして取り入れます。子ども達が一日の遊びを選択して決めます。

こんなことしたよ♪

18日(火)に歯科健診、25日に眼科健診がありました。

歯科健診では、みんな上手に口を大きく開けて歯を見てもらっていました。

健診が終わった後は幼児クラスの子どもたちは、歯医者さんに歯ブラシ指導をして頂きました。虫歯にならないためにはどうやって磨くといいのか、前と内側の歯の磨き方の違いなど丁寧に教えていただきました。歯医者さんから教わったことをこれから実践していきながら綺麗で丈夫な歯であって欲しいと思います。



29、30日には同園会がありました。これまでに卒園したたくさんの子どもたちが保育園に帰ってきてくれました。久しぶりに会う子どもたちはみんな大きく、素敵になっていました。

次は夏休みのお手伝い保育で会えることを楽しみにしています。



同園お泊り会 夜の集い

- ① プール遊び
- ② 泥んこ遊び
- ③ しゃぼん玉・絵の具遊び
- ④ 室内遊び

※ただし木曜日はウエルネス松岡先生にプール指導ですので、2～5歳はプールに入ります。



《7月の予定》

- 9日(火) 耳鼻科健診 13:30
- 12日(金) セタまつり
- 17日(水) そうめんながし
- 18日(木) smile こそだて講演会
- 20日(土) かえでカフェ(フラダンス)
13:30～15:00
- 24日(水) 誕生会
- 26日(金) 月例健診
- 3・29日(水・月) 絵画
- 4・11日(木) 体操
- 18・25日(木) プール遊び